

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

② 施設・事業所情報

名称：重症児・者福祉医療施設ソレイユ川崎	種別：生活介護
代表者氏名：施設長 江川 文誠	定員（利用人数）： 15名
所在地：〒215-0001 川崎市麻生区細山1203番地	
TEL：044-959-3003	ホームページ： http://www.misasakai.or.jp/shisetsu/soleilkawasaki.php
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2005年5月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人三條会	
職員数	常勤職員： 8名 非常勤職員 2名
専門職員	（専門職の名称） 名 生活支援員 4名
	サービス管理責任者 1名 理学療法士 1名
	看護師 3名 管理栄養士 1名
施設・設備の概要	（居室数）
	（設備等） 食堂・浴室

③ 理念・基本方針

私たちは 1.あなたや家族の持つ痛み、苦しみに寄り添うこと 2.あなたの気持ち表情を理解する努力を惜しまず、その意思を尊重すること 3.家族とのかかわりを持ち、あなたと家族を含めた幸福を支えること 4.日常生活の中に肉体的苦痛や心理的負担を持ち込まないこと 5.全ての係わりのある人が良心に従って意見をいいあえることを大切にします

④ 施設・事業所の特徴的な取組

知的障害・身体障害の重複障害をお持ちの方で、医療的ケアが必要な方を中心に受け入れています。多機能事業所として児童発達支援と放課後等デイサービスと一体的に事業を行っており、未就学児から成人まで幅広い年齢層のグループで「療育活動」を行っています。見る、聞く、体験することを重視し、楽しく安心して過ごせる環境を提供しています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年 8月 8日（契約日） ～ 2023年 4月 14日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（令和元年度）

⑥ 総評

◇特長や今後期待される点
特長
事業所の特性を活かした取り組みによって利用者の在宅支援を推進している
事業所としての特性を活かし、医療職、リハビリ職、介護職、看護職など多職種間で連携を図り、利用者への観察力を強化し高いアセスメント能力によって、利用者のニーズを適切に捉えることができている。また、基本的な生活支援技術、個別性に応じ

た支援および個別支援計画書作成などの業務効率化を図ることもできている。在宅支援を推進するため、併設事業所で外来診療および外来リハビリテーションを実施し、また関連行政機関や医療機関との連携も強化している。

新型コロナウイルス感染症対策を徹底している

事業所では主に重症心身障害者を受け入れているため、利用者の多くが基礎疾患を有しているということであり、新型コロナウイルス感染症対策の徹底に取り組んでいる。その上で、利用者が事業所に通所しながら変わらない生活を送れるように援助している。そのため、感染対策委員会を設けて組織一丸となって対策を進め、また、どの部署でも同じ感染症対策を講じるために感染対策マニュアルを整備している。

職員間のコミュニケーションが図れており情報共有ができている

職員はみな明るく、コミュニケーションが図れており、チームにアットホームで温かい雰囲気醸成できている。送迎場所では保護者等とも密にコミュニケーションを図り、利用者についての情報共有もできている。職員同士及び保護者等とも信頼関係が築けており、利用者にとって安定していて安心できる通所となっていることがうかがえる。サービスについての提案や意見等も伝えやすい環境となっている。

今後期待される点

福祉サービス選択に必要な情報提供を充実させることが望まれる

ソレイユ川崎専用のホームページでは 施設概要、事業内容、アクセスなどが記され、利用の案内などが明示されている。事業内容は 重症心身障害施設、重症心身障害児短期入所、通園の事業区分で構成されており、それぞれの対象者が簡単に説明されているが、情報量は少ないため、利用希望者や地域に向けて、事業所の活動内容などをさらにわかりやすく、また、広く情報発信するよう期待したい。

利用者やその保護者等の思いを支援に反映させることを検討されたい

主たる利用者が重症心身障害者であるため、全職員が高い意識と緊張感をもって業務にあたっていることがうかがえる。今回実施した保護者アンケートでは、事業所の感染症対策への取り組みを評価する声が聞かれているが、一方で「柔軟性があまりないように思う」「システム重視のように感じる」などの声も聞かれている。様々な保護者等の思いをくみ取る工夫について期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受審して、事業所の強みや改善点、今後の課題等について再認識することができたと感じている。

また、日頃の業務を振り返ることができ、見落とししていた点、新たに組み込まなければならない点など、様々なことを確認できた。

結果を今一度振り返り、いただいたご意見やご指導については、今後、ご利用者様・ご家族様・地域の皆様にフィードバックできるように取り組んでいきたいと考えている。

引き続き、重症心身障害児（者）、特に医療的ケアの必要な方を中心に受け入れていく施設としての役割を再認識し、ご利用者様・ご家族様・地域の皆様方へのよりよいサービスの提供に向け努力する所存である。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり